



御在所の風



志布志市立田之浦小学校
学校だより 文責：榎 宏三
令和3年3月22日発行

教育目標 「豊かで、たくましい体を持ち、自ら学ぶ『田之浦の子』を育成する」
校訓 「やさしく（キラキラ） かしく（ハキハキ） たくましく（キビキビ）」
めざす子どもの姿 「思いやりの心を持ち、相手を尊重できる子」
「自ら学び、考え、粘り強く学習を続ける子」「命の大切さを知り、自ら鍛える子」



校長室より

努力を続ける子どもたちに！！

美しい言葉

校長 榎 宏三

つい先日三学期が始まったと思っていたら、もう学期末。校庭には、サクラの花が咲き始め、遠くからはウグイスのさえずりも聞こえてきます。学校では、3月24日の卒業式が近づいてきました。別れと出会いの季節です。

さて、皆さんは今、子どもたちに、どんな言葉を“美しい”と感じさせ、使わせたいでしょうか？他者への心遣いが伝わる言葉。精緻で正確な描写や詩的・情緒的な表現。はたまた、テレビやゲームのキャラクターが発する言葉でしょうか。“美しさ”の受け止めは、多様だと思います。

以前、NHKは各界で指導的な立場にある方々に「美しい日本語」を尋ね、ベスト10として選定した言葉が下記の表です。

1位： ありがとう	2位： さようなら	3位： はい
4位： すみません	5位： おはようございます	6位： さわやか
7位： いらっしゃいませ	8位： おやすみなさい	9位： どうぞ
10位： いいえ		

「ありがとう」が1位でした。相手に謝意や心遣いを伝える言葉は、生み出す心のあり様と重なり、国や時を超えても、多くの人が美しいと感じる言葉のようです。

今月の全校朝会で、3月を「感謝を伝える月」にしてほしいという話をしました。「ありがとう」の言葉だけでなく、ぜひ行動で伝えてほしいとも付け加えました。毎日給食を作ってくくださる調理員さんへは、なるべく残食をしない努力をする。いつも使っている靴に対して、心を込めて靴箱にきれいにそろえて入れる。朝登校時、送迎してもらう家族の人に「ありがとう」と、気持ちが伝わるよう頭を下げてお礼を言う。いろいろな場面で「ありがとう」を伝えることができます。 「ありがとう」の言葉をかけられた人たちは、これからも心を込めて取り組もうと意欲を膨らませているいくことでしょう。また、「ありがとう」の言葉を発した子どもは、心を豊かに成長させることでしょう。そして、感謝の言葉により温かな空気に包まれます。

一方で、メディア等で「きもい・うざい」など、他者への配慮のない、攻撃的な言葉が普段使われていることを心配します。言葉遣いは、模倣と繰り返しによって築かれていくものです。また、「言葉は人なり」とも言われ、言葉遣いはその人の“これまで”や“これから”の人間性にも大きな影響を及ぼすものです。

『言葉を教えることは、人を育てること』

このことを皆で再認識し、子どもたちの未来のためにこそ、美しい言葉とその使い方を、大切に教えていきたいものです。

